2020年度
非開削技術講習会を開催しました

角川　順洋
KADOKAWA　Yorihiro
(一社)日本非開削技術協会
事務局長

COVID-19の世界的な感染により，リモートワークなどの新しい生活スタイル，行動様式が広がりを見せつつあります。従来，会場にあつまり集合型の講習会も，その熱気や緊張感，雰囲気もあり，再開したいところではありますが，このような時代において，新しい生活スタイルに合わせた行事を行うことで，当協会の新たな活動の手段として有効に活用していきたいと考えております。

そこで当協会の講習会においてオンラインで開催しました。資料の二次利用を防ぐため，資料の画像処理など行い，オンラインによるデメリットも極力少なくなるよう検討してまいりました。オンラインによる開催では，従来の会場参集と比較し，リスクもありますが，参加者からは予想以上の好評のご意見をいただきました。

開催概要を以下のとおり報告いたします。

Web（Zoomミーティング）による技術講習会

日　　時：2021年2月16日（火）
　　13時10分～17時00分
方　　式：Web（Zoomウェビナー）
内　　容：
　HDD（誘導式水平ドリル）工法
　　(一社)日本非開削技術協会
　　HDD（誘導式水平ドリル）工法委員会
　管路更生工法
　　(公社)日本下水道管路管理業協会
　地下探査工法
　　(一社)日本非開削技術協会 地下探査技術委員会
　推進工法
　　(公社)日本推進技術協会
参加人数：151名

毎年この時期に開催する講習会は，非開削技術を広く国内の関係する分野の方々へ広く知っていただくことを目的とし，基礎的テーマで開催しております。

はじめに当協会HDD（誘導式水平ドリル）工法委員会　伊藤委員長の説明からスタート。HDD工法の施工概要について動画を使用し，施工方法，施工原理の説明をいたしました。

さらに，当協会が発行する手引き「HDD（誘導式水平ドリル）工法用の設計積算要領」を用いて，HDD工法の積算，事前調査，現場条件の調査，日進量，機械器具損料に関する説明のあと，HDD工法で使用される管材について説明を行いました。

次に，(公社)日本下水道管路管理業協会　技術委員会の宮川恒夫委員長代理より，下水道施設を対象とし

講習会のプログラム

時間	演題	講演者等
13：10～13：20	日本非開削技術協会の説明	日本非開削技術協会事務局
13：20～14：10	1．HDD工法技術講習 ・HDD工法の標準施工手順及び特徴ある施工事例について ・HDD工法の設計積算要領について ・HDD工法の基本設計（案）及び施工管理の手引き（案）について	㈠社日本非開削技術協会 HDD（誘導式水平ドリル）工法委員会 委員長　伊藤　靖
14：10～14：20	休 憩	
14：20～15：10	2．「管路更生工法」 管路更生工法の今 ・下水道本管・取付管・マンホールの更生技術について	㈱日本下水道管路管理業協会 修繕・改築委員会 委員長代理　宮川　恒夫
15：10～15：20	休 憩	
15：20～16：10	3．「非開削地下探査技術適用の手引き」 地下埋設物や路面下の空洞探査における地中レーダ法や電磁誘導法を解説	㈠社日本非開削技術協会 地下探査技術委員会 委員長　斎藤　秀樹
16：10～17：00	4．「推進工法」 ・推進工法に関する手引き、設計、積算体系について ・最新技術施工事例の紹介	㈱日本推進技術協会 技術部長　川合　孝

た管路の老朽化に関する課題について，国内の下水道設備の現状，そして維持修繕に関係する法整備の内容，下水道のストックマネジメントの観点から，管路更生工法に関する紹介を行っていただきました。特に管路更生については，その工法分類，工法変遷，要求性能，規格，ガイドラインに関する基礎的な内容から最新の情報まで説明を行っていただきました。

3点目のテーマは，JSTT地下探査技術委員会の斎藤秀樹委員長より地下探査技術に関する説明をおこないました。説明は最初に地下探査の原理を行ったあと，「地中レーダ法」「電磁誘導法」の2つの工法概要について説明を行いました。次に，地下探査技術の具体的な適用方法として，地下埋設物探査，路面下空洞探査の事例をご紹介いただきました。

最後に㈱日本推進技術協会技術部長の川合孝様より，推進工法の概要，メリット，積算体系などを詳しくご説明いただきました。特に最後には，「推進工法のアメイジング」の紹介があり，最新の推進工法における適用技術の具体的な紹介がありました。

開催終了後，参加者からのアンケートからは，今まで東京が中心で開催される講習会が，オンライン方式により，全国から参加できることが嬉しいという意見をはじめ，Web開催なので，人数制限をせずできる限り多くに人数が参加できるようにしてほしいという意見が印象的でした。

今回の講習内容を多くの方々に知っていただけるよう基礎的な内容としましたが，さらにステップアップした内容をさらに聞きたいという意見や，基礎講習会を毎年開催されるのであれば，職場の新任への研修に応用したいなど，今後の講習会継続への強要望をいただきました。

このような講習会は，来年度以降も継続的に開催していく予定です。次回はさらに多く方々へご参加いただけますよう事務局としても万全の体制をとって準備したいと思います。またアンケートからいただいた多くのご要望になるべく沿った行事を今後も企画してまいりたいと思います。